

2018年のクラシック音楽界を振り返って

◆生誕350年クーファン

◆追悼—ロペス=コボス/カバリエ

◆生誕100年アイネム

ロジェストヴェンスキーを偲んで

フログラム

2018年も残すところ1ヶ月少しとなりました。今日はこれまでご紹介出来なかったアニヴァーサリー作曲家、今年亡くなった名演奏家をまとめてご紹介することにしました。

生誕350年の記念の年に当たるフランスの作曲家**フランソワ・クーファン**（1668～1733）は祖父のルイ・クーファンをはじめバロック時代に大きな影響力を持った音楽一族の中でも最も有名な作曲家でしたが、特にクラヴサンのための組曲や合奏音楽に優れた作品を残しました。1717年出版された第6組曲は有名な第5曲を含んでいる事でも知られる作品です。生誕100年に当たる**ゴットフリート・フォン・アイネム**（1918～1996）はオーストリアの作曲家で、ボリス・ブラッハーに師事。1947年にザルツブルク音楽祭で上演された歌劇「ダントンの死」で一躍名声を得ると、1954年からウィーン国立歌劇場の芸術顧問、1963年から1972年までウィーン音楽院の教授、1965年から1970年までオーストリア音楽アカデミーの会長を務めました。1960年にフィラデルフィア音楽アカデミーの委嘱作「フィラデルフィア交響曲」やオペラ、管弦楽曲、室内楽曲等、新古典的な作風が多く、独特のリズムと野性的な響きが特徴的で、ヴァイオリン協奏曲はその特徴をよく表した佳曲です。今日は初演時の演奏でお楽しみください。**ヘスス・ロペス=コボス**（1940.2.25～2018.3.2）はスペイン出身の名指揮者で、ウィーン音楽院でハンス・スワロフスキーに指揮を師事。1981年～1990年ベルリン・ドイツ・オペラの総監督、1984年～1988年スペイン国立管弦楽団の音楽監督、1986年～2000年シンシナティ交響楽団、1990年～2000年ローザンヌ室内管弦楽団の首席指揮者、2003年～2010年マドリッド王立歌劇場音楽監督を歴任。他ベルリン・フィル等一流オーケストラを指揮、真摯な音作りと美しい音色を引き出す能力に優れた名指揮者でした。**モンセラート・カバリエ**（1933.4.12～2018.10.6）はスペインの生んだ名ソプラノ。1957年『ボエーム』でデビュー、1965年カーネギー・ホールで行われた演奏会形式のドニゼッティ『ルクレツィア・ボルジア』の成功で一躍世界に知れ渡り、引退するまで世界的な大歌手として活躍しました。**ゲンナジー・ロジェストヴェンスキー**（1931.5.4～2018.6.16）はロシアの名指揮者で、モスクワ音楽院に学び、モスクワ放送交響楽団、ボリショイ劇場の音楽監督、ストックホルム・フィルハーモニー管弦楽団、ソヴィエト国立文化省交響楽団、BBC交響楽団の首席指揮者を歴任。日本では読売日響の名誉指揮者として頻繁に来日していました。音楽に生命力を与え、多彩な音色と色彩感を生み出す華麗なバトンテクニックを持った名匠でした。

フランソワ・クーファン（1668～1733）:

クラヴサン曲集第2巻 第6組曲変ロ長調～

1.刈り入れをする人々 2.優しい恋やつれ 3.さえずり 5.神秘的なバリケード 8.羽虫

エディット・ピヒト=アクセンフェルト（チェンバロ）
（1973.11.25 日生劇場でのLive）

ジャコモ・ブッチーニ（1858～1924）:

歌劇“ジャンニ・スキッキ”～第1幕 “わたしのお父さん”

シャルル・クノー（1818～1893）:

歌劇“ファウスト”～第3幕 “宝石の歌”

モンセラート・カバリエ（ソプラノ）/ヘスス・ロペス=コボス指揮オーストリア放送交響楽団
（1983.9.29 ウィーン・コンツェルトハウス大ホールでのLive）

ジョルジュ・ビゼー（1838～1875）:

小組曲“子どもの遊び”

ヘスス・ロペス=コボス指揮ローザンヌ室内管弦楽団
（1995.12.12 ローザンヌ、メトロポールでのLive）

マヌエル・テ・ファリャ（1876～1946）:

舞踊音楽“三角帽子”第2部

ヘスス・ロペス=コボス指揮NHK交響楽団
（2014.5.16 NHKホールでのLive）

*** 休憩 ***

ゴットフリート・フォン・アイネム（1918～1996）:

ヴァイオリン協奏曲op.33～第2楽章、第4楽章

ルツジェーロ・リッチ（ヴァイオリン）/小澤征爾指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団
（1970.5.31 ウィーン・コンツェルトハウス大ホールでのLive 世界初演）

ミハイル・クリンカ（1804～1857）:

歌曲“ルスランとリュドミラ”序曲

ゲンナジー・ロジェストヴェンスキー指揮モスクワ放送交響楽団
（1972.5.8 東京文化会館大ホールでのLive）

ピョートル・チャイコフスキー（1840～1893）:

交響曲第4番ハ短調op.36～第1楽章、第4楽章

ゲンナジー・ロジェストヴェンスキー指揮ベルリン・ドイツ交響楽団
（1995.11.6 ベルリン・フィルハーモニーホールでのLive）